

令和3年度 日向市下水道事業会計決算の概要について

1. 総括

本市公共下水道事業は、昭和49年の着工、昭和62年の供用開始以来、市民の安全で快適な生活を確保するとともに、生活環境の保全や河川などの水質汚濁防止に寄与するため、下水道施設の整備とその適正維持に努めてまいりました。

本年度は、財光寺の往還地区及び切島山地区の下水道整備を進めるとともに、下水道施設の耐震性を確保するため、耐震化工事を行いました。

また、供用開始から30年以上経過し、設備の老朽化が進む日向市浄化センター、富高、亀崎、細島ポンプ場について、事業費の平準化とライフサイクルコストの抑制を図るため、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設の長寿命化対策工事を行いました。

2. 業務状況

本年度末の処理区域内人口は34,984人で前年度に比べ281人減少、水洗化人口は32,499人で前年度に比べ69人増加しています。また、普及率は58.7%で前年度に比べ0.2ポイント増加、水洗化率は92.9%で前年度に比べ0.9ポイント増加しております。

なお、汚水処理水量は3,924,069^{m³}で前年度に比べ12,717^{m³}増加、有収水量は3,616,582^{m³}で前年度に比べ19,246^{m³}減少しております。

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率(%)
1. 行政区域内人口(人)	59,598	60,241	△643	△1.1
2. 処理区域内人口(人)	34,984	35,265	△281	△0.8
3. 普及率(%)	58.7	58.5	0.2	0.3
4. 水洗化人口(人)	32,499	32,430	69	0.2
5. 水洗化率(%)	92.9	92.0	0.9	1.0
6. 年間総処理水量(^{m³})	3,924,069	3,911,352	12,717	0.3
7. 1日平均処理水量(^{m³})	10,751	10,716	35	0.3
8. 年間有収水量(^{m³})	3,616,582	3,635,828	△19,246	△0.5

3. 財政状況

(1) 収益的収支について

収益的収支（税抜き）については、事業収益は1,320,290,251円で、うち、下水道使用料は457,655,200円、長期前受金戻入は317,572,195円、一般会計からの負担金等が530,103,000円となっています。

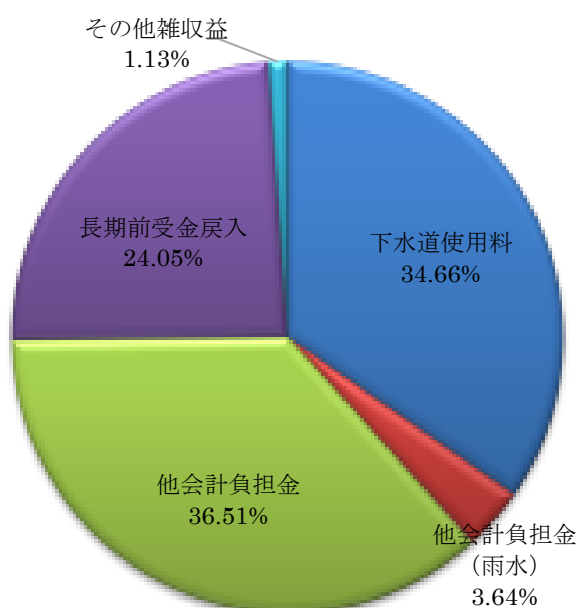
事業費用は、1,101,103,296円で、主な内訳は、減価償却費が704,914,604円、企業債の利息が105,822,114円となっています。

以上の結果、収益的収支差引では、219,186,955円の当年度純利益を計上しました。

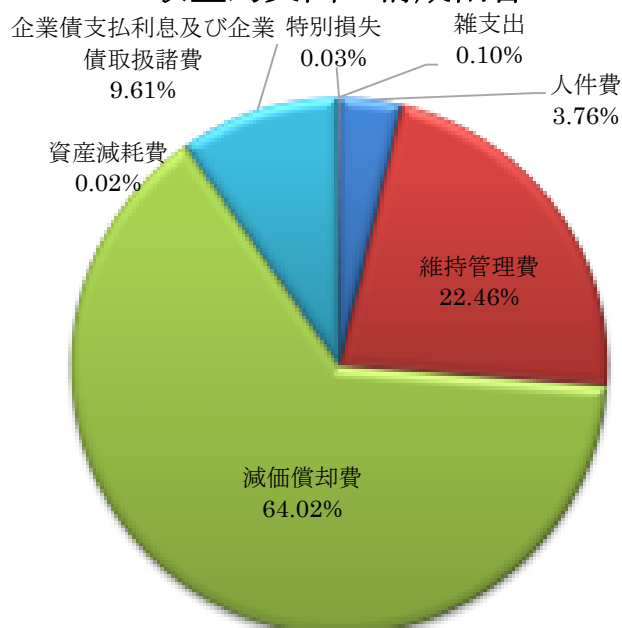
(単位：円、%)

区 分	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率
下水道事業収益	1,320,290,251	1,304,153,763	16,136,488	1.2
営業収益	518,667,765	522,359,493	△3,691,728	△0.7
営業外収益	801,622,486	781,794,270	19,828,216	2.5
特別利益	0	0	0	—
下水道事業費用	1,101,103,296	1,119,021,703	△17,918,407	△1.6
営業費用	993,865,583	995,510,352	△1,644,769	△0.2
営業外費用	106,873,725	123,441,981	△16,568,256	△13.4
特別損失	363,988	69,370	294,618	424.7

収益的収入 構成割合



収益的支出 構成割合



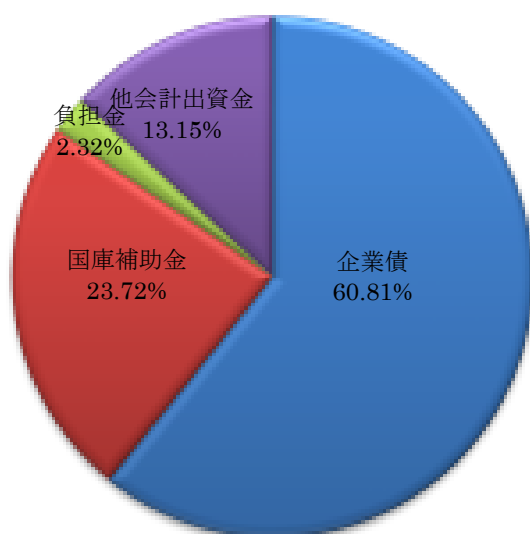
(2) 資本的収支について

資本的収支（税込み）については、収入額 682,489,060 円に対し、支出額 1,292,272,920 円で差し引き収支不足額は、609,783,860 円となり、不足額は、損益勘定留保資金等で補填しております。

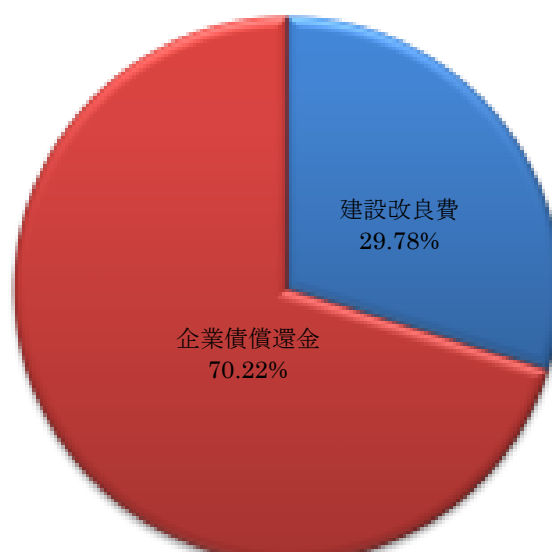
(単位：円、%)

区 分	令和 3 年度 (A)	令和 2 年度 (B)	比 較 (A) - (B)	増減率
資本的収入	682,489,060	563,381,525	119,107,535	21.1
企業債	415,000,000	346,500,000	68,500,000	19.8
国庫補助金	161,856,000	91,626,000	70,230,000	76.6
負担金	15,856,060	38,827,525	△22,971,465	△59.2
他会計出資金	89,777,000	86,428,000	3,349,000	3.9
その他資本的収入	0	0	0	-
資本的支出	1,292,272,920	1,145,545,525	146,727,395	12.8
建設改良費	384,857,870	246,387,610	138,470,260	56.2
企業債償還金	907,413,968	899,152,534	8,261,434	0.9
投資その他の資産	1,082	5,381	△4,299	△79.9

資本的収入 構成割合



資本的支出 構成割合



4. 企業債の状況

下水道を建設するためには、多額の費用を要するため、市の単独予算ではまかないきれません。そこで、企業債（地方債）を発行することにより、資金を調達し、事業に充当しています。

令和3年度は、415,000,000円の企業債を発行し、907,413,968円を償還した結果、返済を終えていない企業債残高（企業債未償還残高）は、8,348,147,745円となっています。

企業債残高は縮減傾向にありますが、引き続き、企業債の適正な発行と償還を行っていく必要があります。

令和3年度企業債状況表

(単位：円)

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
下水道事業	8,840,561,713	415,000,000	907,413,968	8,348,147,745

